

国際交流協会ニュース

— Ichihara International Association —



2024年7月30日 発行 市原市国際交流協会
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 市原市役所 観光・国際交流課内
TEL 0436-23-9866 FAX 0436-21-0332
e-mail: iia@city.ichihara.lg.jp
ホームページアドレス https://iia-ichihara.org/



NECTJ (Northeast Council of Teachers of Japanese)

がくせいこうりゅう 学生交流プログラム

2024・4・22～29

NECTJ学生交流プログラムは、米国の学生に対して日本語教育の向上を目指し活動するNPO団体（米国北東部日本語教師会）が日本語を学ぶ学生たちを連れて日本を訪問し、市民との交流や日本文化を学ぶことを目的とする事業である。今年度は女子高校生3名と日本語教師（米国在住日本人）1名が都内見学の後、4月22日から29日まで市原市を訪れた。学生たちを引率する先生が市原市牛久のご出身ということからIIAとの縁が生まれ、過去数回学生たちの受け入れに協力、今年度より正式にIIAの事業として実施することになった。

訪問初日は生憎の空模様であったが、早速IIAスタッフの車で大多喜城や笠森観音へ向かった。滞在中は、武道場での薙刀・合気道・弓道見学、着物着付けや茶道、歴史博物館見学や勾玉作りなど日本ならではの文化を見学し体験、さらに学校訪問なども盛りだくさんのスケジュールとなった。

学校訪問では千葉県立市原八幡高校の先生方にご協力いただき、英語や書道の授業

に参加し学校生活を経験した。授業では、八幡高校の学生から英語による質問が用意され、英語での受け答えが行き交っていた。国、民族、文化の違いを超えて学生同士が交流し盛り上がる姿、こうした光景こそが交流プログラムの意義と言えるであろう。この度は女子高校生3名の来日と聞き、着物着付けや茶道も計画に入れた。色とりどりの着物を着て帯も結び鏡に映る姿に大喜びし早速写真に収めていた。「茶道」は木々に囲まれ茶室を備えた古民家での本格的な体験である。3人の学生には、お茶の点て方、飲み方まで教えていただき、亭主の優しいお気遣いに感謝した。ただ、3人の学生だけでなく我々スタッフも正座が苦手で学生たちに用意された3脚の椅子では足りず、静粛な茶室での御手前が少々可笑しい展開となってしまった。

市長表敬訪問では、学生たちに緊張の様子が見られたが、市長のジョークを交えたお答えに次第に緊張がほぐれ、次々に市長への質問が出ていた。ホームステイでは、

3家庭のご協力のもと日本の家庭生活を経験しホストファミリーとの交流を楽しんだ。

市原市主催の姉妹都市交流事業は30年を超えIIAも関わってきたが、「NECTJ学生交流プログラム」はIIA独自の海外交流事業として今年度より一歩を踏み出した。米国の学生受け入れに始まった事業であるが、将来、日本からも学生の派遣が出来る日が来ることを願っている。



ベトナム旅 - 愛をつなぐ旅

市原中央ロータリークラブと共に タティトゥ・ハン

2023・5月



2023年5月に市原中央ロータリークラブ(以下市原中央クラブ)のメンバーと行ったベトナム旅から半年以上が経ちましたが、あの時の特別な思いは今でも私の心に鮮明に残っています。

私はベトナム出身のタ・ティ・トゥ・ハン、現在、千葉にある敬愛大学4年生です。私はロータリー米山記念奨学生として、市原中央クラブのメンバーとともに2年間活動していました。現在まで、市原中央クラブは様々な有意義なボランティア活動を行っていました。その一つ

は、ロータリーの地区補助金でベトナムのクアンナム省の二つの学校に18台のパソコンを寄贈するプログラムです。このプログラムの成功は、両国の2つのロータリークラブ、市原中央クラブ(日本)とダナンクラブ(ベトナム)、およびその他の多くの団体の連携の成果でした。特に今回の成功には、私の先輩である元奨学生ファム・ティ・フォンさんの尽力を抜きに語ることはできません。この有意義なプログラムの成功を受けて、市原中央ロータリークラブのベトナム訪問が決定し、幸運にも私も参加することが決まりました。今回の3泊4日の旅は、両国のロータリークラブ間の友好と協力をさらに発展させることを主な目的としました。両クラブは文化を交換する機会を持ち、両クラブが追求する良い目的と理想をより深く理解し、それを基礎とし

て将来の慈善プロジェクトを継続的に実施したいと考えていました。

6年間の日本での留学を経て習得した外国語スキルのおかげで、私は懸け橋として通訳サポートを務めました。さらに、2つのクラブのメンバーに日本文化とベトナム文化について紹介する機会も得ました。

言葉の壁を乗り越えて、2つのクラブはお互いの国の文化と人に深い印象を残してきました。この旅が、もう終わりましたが、多くのチャンスが開かれています。私は信じています。ベトナムと日本の友好関係を築くチャンス、将来の慈善プロジェクトができるチャンス、そして私はこれからも、それらのチャンスを実現する架け橋であり続けたいと思っています。

バス研修

日本語教室部会 2024・3・24

日本語教室部会は「百年後芸術祭 内房総アートフェス」の開催に合わせて市原湖畔美術館にて芸術鑑賞、湖畔のマルシェ見学、いちほろクオードの森にて昼食、ピクニックを行いました。当日は市役所駐車場からスタートし、八幡公民館、五井駅西口、姉崎公民館、南総公民館から乗車し、合わせて39名の方に参加を頂き、40名定員のバスはほぼ満席となりました。当日は降水確率60%ながら、帰りに雨が降る程度で天気にも恵まれました。

研修目的は主に美術館の企画展である「ICHIHARA×ART×CONNECTIONS-交差する世界とわたし」にてベトナム・フィリピン・中国・韓国の方の作品を見学すること、ベトナム・フィリピンの方

の作品制作に携わったワークショップを実際に見る事でした。美術館内のモニターには日本語教室で行われた衣服を縫い付ける様子も放映されました。学芸員の方に質問したり熱心に美術の解説を聞いている方もいたり、身体にまどって着ることが出来るペットボトルで出来た芸術作品には子どもたちも興味津々で見ていました。総じて作品を通じ市原と多文化のつながりを見る事が出来ました。

美術鑑賞後は美術館の敷地内で行われていた湖畔のマルシェに足を運び、屋台で軽めの飲食物などを購入してレジャーシートを広げてゆっくり過ごしました。

次にいちほろクオードの森に向かい、楽しみにしていた桜はまだ咲いておりませんが、道中バス車内から見える

菜の花畑とレトロな小湊鉄道の駅舎を楽しみ、気分も高揚しました。遅めの昼食をとり、敷地内を皆さんと一緒に歩きました。

余裕を持った行程でゆっくり巡る事が出来、一日を通じて高滝湖畔の景色やクオードの森の自然に癒されながら、交流を楽しんだ一日でした。御参加下さった皆様有難うございました。



やさしい国際理解セミナー

わたしのそこく「私の祖国ウクライナ」

総務部会
講師

2024・2・17
清水イリーナ氏



空の青と小麦の黄色がウクライナの国旗

第9回目となるIIA総務部会のやさしい国際理解セミナーは、講師に市内在住の清水イリーナ氏を迎えて市民会館会議室1・2に於いて約60名が参加して午後1時半～3時半の間開催された。

清水イリーナ氏はウクライナの首都キーウ東隣ドニプロ川対岸ボルタヴァ州生まれ、キーウ大学大学院卒業後編集者として就職、2022年難民として来日し市原市在住、現在日本語学校にて勉強中、現在のグレードはN3とのごと(N1～N5の等級がある)ウクライナは面積約60万㎡人口4400万人、国土の平均標高170mと平坦で肥沃な国土を有するが2061mの最高峰もある。主要河川のドニプロ川は全長2200mでヨーロッパ第3の大河。

イリーナさんは当日日本語で話され、用意して頂いたパワーポイントも日本語で作成、67スライドもの大作であった。

<ウクライナの歴史・自然・国土>

最初はウクライナの歴史、自然、国土について説明。キーウに立派なカテドラルや城が建設されたAD千年頃、モスクワはまだ深い森だった。ウクライナの国旗の青は空を黄色は小麦畑を表している。野菜がたっぷり入ったビーツの根のスープのボルシチはウクライナの伝統食。(ロシア発祥の料理ではない)ウクライナの刺繍文様は各州ごとに異なりそれぞれ特有の意味を表している。またヒマワリの種の世界最大の生産国で、ウクライナのあらゆる場所での黄色い花の見事な畑を見ることが出来る。

更に小麦の栽培に理想的な条件を備えており、主要生産国であるため、「ヨーロッパの穀倉地帯」と呼ばれる。ハチミツの供給国としても世界第3位である。キーウの地下鉄アルセナル駅は世界で最も深い駅で、深さ105mの地下を通過します。国会議事堂近くの駅は1960年に建設された最初の駅の一つです。世界で3番目に訪問者の多いマクドナルドは、キーウの鉄道駅近くにあります。世界で最も有名なクリスマスキャロルの一つはシチェドリクです。ウクライナの作曲家ミコラ・レオントヴィチによって書かれた民謡で、世界中で「キャロル・オブ・ザ・ベル」として知られている。1934年にパリで開催された言語の美しさのコンテストでは、発音、語彙、語法、文構造などの基準で、ウクライナ語はフランス語、ペルシア語に次いで第3位となりました。そして、メロディアスさの点で、ウクライナ語はイタリア語に次いで第2位でした。カルパチア山脈の中に位置するウクライナの町ラキウは、公式にはヨーロッパの地理的中心とみなされている。ウクライナ自体はヨーロッパ最大の国家であり、その領土全体が地理的にヨーロッパに位置している。

<ロシアとの確執>

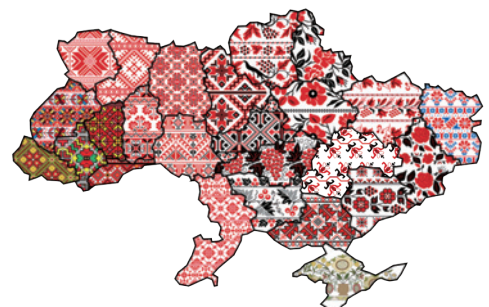
イリーナさんは続いてロシアとの関係に触れる。17世紀からモスクワはウクライナの土地に侵攻し始めた。1721年、モスクワはキーウ大公国の遺産を横領し、古い歴史を換えようとして、自らをロシア帝国と改名した。「長男はロシア人/モスクワ人、次男はウクライナ人とベラルーシ人」の「兄弟」と言う物語がロシアによって作られた。そしてロシアから新たな敵がやって来た。ロシアのボルシェビキ(1922年からソ連として知られる)の侵攻です。

2013年大統領が「欧州連合との協定」への署名を拒否したことにより、ウクライナで革命(「尊厳革命」または「ユーロマイダン」)が起きました。革命と政権交代により、2014年ロシアはクリミアを併合し、ウクライナと戦争を始めた。2022年2月24日-新たなエスカレーション。戦場で勝利する能力に欠けているロシアのテロ国家は、ウクライナの都市や重要なインフラに対する野蛮な砲撃に頼っている。ほとんどのミサイル攻撃は民間物体を標的としている。ロシアのテロリストは、我が国のエネルギーシステムを破壊することで、ウクライナに人道的大惨事と社会的混乱を引き起こし、経済を破壊し、都市の生命を奪おうとしている。私たちは「我が国」の為に戦う。私たちは愛する人たちを守ります。私たちは自由の為に戦う。侵略者は抵抗がなければ土地を次から次へ奪っていきます。

このイリーナさんの語る厳しい戦争の実態に聴衆は言葉も無く聞き入った。

当日ウクライナのイリーナさんの母上とZOOMによる通信を予定していたが、現地側で通信状況が悪くZOOMに入らず、用意してくれていた映像をお見せできなかったのは残念だった。それでも電話で現地と繋ぎ、様子を垣間見ることができたのは幸いだった。質問セッションでは質問が途切れることがなかった。

当日ウクライナ支援の物品販売が行われた。



州毎に異なる刺繍の文様

2024年度 年 間 活 動 予 定 表

	4, 5月	6月	7月	8月	9月
全体事業	4/20-30 NECTJ 交流プログラム 5/16(水) 総会 春季TOEIC講座	23(日) 講演会 「日本は移民立国に なれるか」 春季TOEIC講座		3日(土) 在住外国人児童・生徒のためのサマースクール 青少年会館	秋季TOEIC講座
総務部会 部会長 伊東 ☎ 090-6129-4900	IIAニュース、・ホームページ編集、 国際交流センター管理業務：原則として毎週火曜日国際交流センターにて定例会議を 行事予定発行：2, 3か月毎に必要なに応じて実施、 4Qに実施される国際理解セミナーの検討：適宜検討会議を実施				
ふれあいサロン部会 部会長 田中(幹) ☎ 24-7502	(通年) ◆サロン未来's 辰巳：光の子幼稚園の一室 間崎 ☎ 0438-63-1103 8/24 BBQ大会 11/3 光の子幼稚園バザー ◆アミーゴの会 (在住外国人児童生徒のための学習教室) 毎週(土) 午前 五井公民館 田中 ☎ 24-7502				
交流部会 部会長 彦坂 ☎ 090-2741-4388	5/11(土) チャレンジ韓国語	11,22(土) チャレンジ韓国語	13(土) チャレンジ韓国語	10,24(土) チャレンジ韓国語	14,28(土) チャレンジ韓国語 22(日) もっと知りたい? よその国・タイ 29(日) 防災バス研修
姉妹都市部会 部会長 須貝 ☎ 080-1178-5922	4/22 ~ 24 NECTJ (米国北東部日本語教師会) 学生交流プログラム受入時の支援				9/7 善意通訳セミナー (座学研修) 9/14 同(現地研修)
日本語教室部会 部会長 小久保 ☎ 74-8056, 080-2556-7317	(通年) ◆五井教室 毎週(木) 10:00 ~ 12:00 五井会館 高梨 ☎ 24-3032 木畑 ☎ 090-2114-2590 ◆ラベンダー教室 毎週(金) 10:00 ~ 12:00 青少年開館 小久保 ☎ 080-2556-7317 ◆姉崎教室 毎週(月) 09:30 ~ 11:30 姉崎公民館 小久保 ☎ 080-2556-7317 ◆南総教室 毎週(日) 13:00 ~ 15:00 南総公民館 中田 ☎ 090-2560-9967 ◆白金子子ども日本語教室 毎週(金) 14:30 ~ 16:00 白金小学校 行方 ☎ 090-2653-9309 (白金小が特別日課の日は時間変更あり) (小学生対象・幼児や中学生も可)				
	学年はじめ休み 4/1 ~ 7 白金子子ども教室 白金子子ども教室開始 4/26(金) ~	第1回日本語教室部 会会議 26(水) 14:00 ~ 16:00 (五井公民館研修室1)	(夏休み) 8/1(木) ~ 8/29(木) 五井教室 7/20(土) ~ 9/1(日) 白金子子ども日本語教室 *上記以外は夏休みなし 8/3(土) サマースクール青少年会館		

団 体 会 員	
(公財) 市原市スポーツ協会 理事長 松本 ☎ 42-7712(斎藤)	市原ライオンズクラブ 会長 渡邊 ☎ 98-5611(山口) * 7月東洋東南アジア大会 * 通年 アリオ市原店献血運動

賛 助 会 員
・市原市小学校長会 ・市原市立八幡中学校PTA ・市原市立京葉小学校PTA ・市原市立五井小学校PTA ・市原市立白金小学校PTA

詳細は担当にお問い合わせください。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
5, 6 上総国府祭り 22,29((日)) 13(日) 国際交流フェスタ 秋季TOEIC講座		冬季TOEIC講座	冬季TOEIC講座		
	IIAニュース第88号発行		「やさしい国際理解セミナー」		IIAニュース第89号発行

行う (HP編集会議は緊急性に応じて適宜開催する)

エスニック料理出店 12/18 クリスマス会 1/8 新年会

◆情報サロン(ポルトガル語) 1) ポルトガル語通訳 2) ポルトガル語翻訳 3) 日系ブラジル人の相談の受付 4) 日系ブラジル同士の絆を高めながら日本文化とのふれあい活動 ポルトガル語クラス 原則 毎週金曜 午後6時～8時 国分寺公民館 平出 ☎66-5315

12,26(土) チャレンジ韓国語	9(土) チャレンジ韓国語 10(日) 国際交流ひろば来て！ 見て！話そう	8(日) 仮称 みんなのひろば 14(土) チャレンジ韓国語 22(日) ウクライナの クリスマス料理	10,24(土) チャレンジ韓国語	防犯教室 14,18(土) チャレンジ韓国語	
		モバイル国際交流協会MISCAとインターネット(ZOOM)交流			

◆八幡教室・午前教室 毎週(日) 10:00～12:00 青少年会館 杉山 ☎36-6825
午後教室 毎週(日) 13:00～15:00 青少年会館 杉山 ☎36-6825
夜教室 毎週(水) 18:30～20:30 青少年会館 櫻井 ☎090-3812-4424
◆辰巳台教室 毎週(土) 18:30～20:30 辰巳台公民館 松永 ☎090-8477-7747

第2回日本語教室部 会会議 23(水) 14:00～16:00 (五井公民館研修室1) 秋休み 10/11(金)～15(火) 白金子ども教室		12/9(月) 姉崎教室 生け花教室 12/26(木) 五井教室 年末パーティ 12/25(水) 八幡水曜夜教室 ティーパーティ (冬休み) 12/25～1/5 白金子ども教室 12/26～1/2 五井教室 12/8(日) バス研修	第3回日本語教室部 会会議 2/26(水) 14:00～16:00 (五井公民館研修室1)	(春休み) 25(火)～白金子ども教室 27(木)～五井教室
---	--	--	---	--------------------------------------

団 体 会 員

市原ロータリークラブ ☎0438-60-1336(リプラス内)	市原中央ロータリークラブ ☎37-2545	(株)VONDS 市原 ☎75-2015
------------------------------------	--------------------------	-------------------------

賛 助 会 員

・(医社)大倉会 ・(医)鎗田病院 ・市原商工会議所 ・丸善石油化学(株)千葉工場 ・(株)開運 ・ツルヤマテクノス(株)
・蔭山義人(珈琲カームル) ・JA市原 ・小湊鐵道(株) ・アヅマホーディングス(株) ・(株)昇和建设
・宮地エンジニアリング(株) 千葉工場

IIA講演会

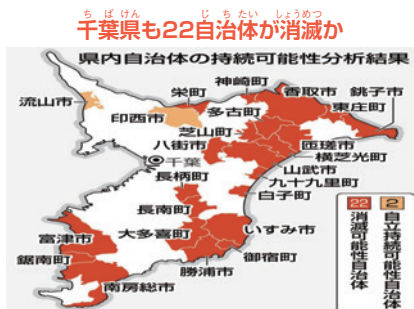
「日本は移民立国になれるか」

2024・6・23
講師 重田育哉氏

市民会館大会議室に於いて約40名が参加して開催された講演会は、今年は講師に木更津出身・元読売新聞編集委員の重田育哉氏をお迎えして、昨今話題になっている移民問題についてお話し頂いた。重田氏はジャーナリストらしくデータを駆使してお話しされたが、まず様々なファクトを気づかせてくれた。

<事実の確認>

移民には短期・長期がある。移民が最も多いのは米国で約5千万人(15%) 2番目がドイツで1,500万人(19%) 6番目のUAEは870万人で何と93%。日本はというと24番目で28万人、2.2%。移民が増えるメリット：移民が1ポイント増えれば5年後にGDPが1%増える、これは低成長時代には大きい。移民増加で税収増を目指す。2050年に消滅自治体の4割、744消滅との予測(千葉県は22) 一方で人口が増えている自治体があることも事実。



人口の減少は先進国の共通の現象でそれは女性の大学進学率の増加に比例している。戦後の70年間で6歳も女性の初婚

年齢は上がっている。更に日本の賃金の低さが結婚に否定的な環境を作っている。人口が減れば当然労働人口も減少している、2040年には1100万人の労働人口の不足が予測されている。

<取るべき対策は?>

但し産業構造の変化により花形産業は常に変化していることにも着目する必要がある。当然以前花形だった重厚長大産業から情報産業へと花形産業が移動しており、こうした産業は必ずしも労働人口をそれほど必要としていない。また現在花形である自動車産業もEV化の進展により人手の必要性が減少していくと思われる。但し移民の必要性は世界中にあり、日本がこれまでと同じように移民を獲得していけるかは疑問。昨今の円安による収入の減少が良い例。更に政治的にも移民受け入れが順調に推移していくかも疑問がある。これは日本の排外的な島国根性も根底にあることに起因している。現在日本の政党はどの党も移民政策を推し進めるとは言っていない。こう考えると1100万人の補填は移民だけで賄えるのではなく、女性、高齢者、移民といった複合的な対策を推し進めるのが適当であろう。外国人労働者より女性、高齢者の活用を重視すべき。女性の活用には現在、働く女性に掛けられている3つの壁(103, 130, 150万円の壁)の撤廃は当然である。又高齢者の労働を制限する年金制度も改めるべきである。外国人

労働移民の受入は主要な対策では無いが大きな柱の一つであり、その為の努力も疎かにすべきでない。現在の28万人から300万人程度には持っていくべきであろう。ハーバード大学のジョセフ・ナイ教授も均衡縮小の清貧国家はやめた方がいい、国の成長が止まると、国民の活力が失われる。そのために①移民受け入れ②テクノロジー活用③人的資源開発が必要であると述べている。その為には、外国人が住みやすい環境を政治・経済・社会で作る▼移民政策に積極的に理解がある政治家を選挙で選ぶ▼そういう企業を応援するといった努力が必要である。更に在留の人を守る法律整備を、例えば、ヘイトスピーチの被害者を救済する人権保障・差別禁止法の制定推進などが必要となる。外国人受け入れに関し昨年、今年と2つの法律が成立したが、まだまだ問題山積で改善すべきである。①改正出入国管理法が6月10日施行②技能実習制度→育成就労へ出入国管理及び難民認定法及び外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律の一部を改正する法律が6月14日成立(2027年施行)。

いずれにしても、いきなりの「移民大国」は無理というもの。「移民中国」を目指して、外国人にとっての環境を良くしていく地道な努力が重要との結語であった。

IIA総会開催 2024・5・16
今年度のIIA総会は5月16日に国分寺公民館で開催され全ての議案が執行部提案通り採択され新年度が始まった。議案書はIIAのホームページに掲載されています。ご興味のある方はご覧ください。IIAの年間予定等詳細に記載されています。

チャレンジ韓国語「ステップ2」と「挨拶から始めよう」

昨年からはじめた、交流部会の国際ショナルフレンドシップクラブのチャレンジ韓国語「挨拶からはじめよう」が続けてやりたいという受講者の希望と先生のご協力もあり、今年度は「ステップ2」と「挨拶から始めよう」の2クラス

を設けた。募集は「挨拶から始めよう」だけでしたが、中には上級者もおられ、急きょクラス替えをした。食、文化、歴史、推し活等、学ぶ目的意識は違っても皆楽しみながら出席され、新年度が始まった。